

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
株主確定基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 配当 3月31日 その他必要あるときは、あらかじめ公告いたします。
公告方法	当社公式WEBサイトに掲載いたします。 (https://www.dainichi-net.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告を行なうことができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社

お問い合わせ内容	お問い合わせ先	
	証券会社などに 口座をお持ちの場合	特別口座の場合
● 氏名、住所などのご変更 ● 単元未満株式の買取・買増請求 ● 配当金の受取方法、振込先のご変更	お取引のある証券会社 などにお問い合わせ ください。	みずほ信託銀行証券 代行部※にお問い合わせ ください。
● 郵便物の発送・返戻に関するお問い合わせ ● 未払配当金に関するご照会	みずほ信託銀行証券代行部※にお問い合わせください。	

※みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル：0120-288-324 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4

株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

市町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。
このため、株主様からお取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要があります。

【マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先】

証券口座にて株式を管理されている場合

お取引の証券会社までお問い合わせください。

証券会社とのお取引がない場合

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
マイナンバー専用フリーダイヤル:0120-84-0178

サイトのご案内

■公式WEBサイト

「製品情報」、「お客様サポート」や「会社情報」をご案内しております。

また、株主・投資家の皆様には、当社をよりご理解いただくために、「株主・投資家情報」で各種資料を掲載しております。



ダイニチ 検索

■ダイニチWebShop

当社が運営する公式通販サイトです。製品の別売部品や加湿器、暖房機などを販売しています。

メーカー運営の安心感や迅速な発送システム、送料無料などのサービスで多くの方にご好評いただいております。



ダイニチ WebShop 検索

Dainichi

株主通信

第61回 定時株主総会決議ご通知
第61期 期末のご報告(2023年 4月 1日～
2024年 3月31日)
【証券コード:5951】



ダイニチ工業株式会社

トップメッセージ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご厚情を賜り、誠にありがたくお礼申し上げます。

当事業年度の経済概況

当事業年度（2023年4月1日～2024年3月31日）におけるわが国経済は、このところ一部に足踏みもみられるものの、緩やかに回復している状況となりました。

先行きにつきましては、緩やかな回復が続くことが期待される一方で、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっております。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある状況です。

事業の経過について

当社は、市場や住環境の変化に対応した製品開発に取り組み、コーヒー豆焙煎機の新モデルやフルモデルチェンジした加湿セラミックファンヒーターを発売しました。また、原材料価格やエネルギー価格の上昇、仕入先の質上げに伴うコストの増加分に応じた販売価格の改定を引き続き進めるとともに、最適な生産体制の構築に取り組みました。

主力製品であります石油暖房機器では、日本国内の自社工場での生産による迅速な製品供給力と、安心して製品をお使いいただくための品質保証体制がお客様に評価されて業界内で確たる地位を築いております。

当事業年度の家庭用石油ファンヒーターにおきましては、燃烧開始後、室温が15℃以下の場合に自動で最大火力を10～15%アップして、よりすばやくお部屋を暖める新機能「オートターボ EX運転」を搭載した家庭用石油ファンヒーター「SGXタイプ」3機種を含む全12タイプ26機種の製品を販売いたしました。

また、電気暖房機器では、省エネ性・お手入れ性・暖房力を向上させた加湿セラミックファンヒーターを含む2機種を販売し、脱衣所やキッチンなどスポット暖房の需要にお応えしてまいりました。

加湿器では、コンパクトな個室からワイドリビングまでさまざまなお部屋で使えるデザインモデルの「LXタイプ」を含む全8タイプ23機種の製品を販売いたしました。

また、加湿器と空気清浄機では、全国の視聴者に向けたテレビCMの出稿など積極的な販売促進活動を行いました。

その他では、4月にコーヒー豆焙煎機の新モデルを発売しました。

当事業年度における業績について

以上の結果、当事業年度における業績は、以下のとおりとなりました。

売上高	196億50百万円（前期比 7.4%減）
営業利益	11億円（前期比 24.0%減）
経常利益	12億94百万円（前期比 21.9%減）
当期純利益	8億88百万円（前期比 26.6%減）

今後とも業績向上に全力で取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。



2024年6月
代表取締役社長
吉井 唯

第61回定時株主総会決議ご通知

2024年6月26日開催の当社第61回定時株主総会におきまして、下記のとおり報告ならびに決議されましたのでご通知申し上げます。

記

報告事項 第61期（2023年4月1日から2024年3月31日まで）事業報告及び計算書類の内容報告の件

本件は、上記の内容を報告いたしました。

決議事項 第1号議案 剰余金の処分の件

本件は、原案のとおり承認可決されました。（期末配当金は、1株につき22円）

第2号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）4名選任の件

本件は、原案のとおり承認可決され、取締役（監査等委員である取締役を除く。）に吉井 久夫、吉井 唯、野口 武嗣、海保 雅裕、の4氏が再選され、それぞれ就任いたしました。

第3号議案 監査等委員である取締役1名選任の件

本件は、原案のとおり承認可決され、監査等委員である取締役に中村 亨氏が、本総会終結の時をもって辞任された渡辺 美幸氏の補欠として新たに選任され、就任いたしました。

第4号議案 退任取締役に対する退職慰労金贈呈の件

本件は、原案のとおり、任期満了により退任された取締役（監査等委員である取締役を除く。）田村 正裕氏及び辞任により退任された監査等委員である取締役渡辺 美幸氏に対し、それぞれ在任中の功労に報いるため、当社の定める「役員退職慰労金支給内規」に基づき、相当額の範囲内で退職慰労金を贈呈することといたしました。

なお、その具体的金額、贈呈の時期、方法等は、田村 正裕氏については取締役会に、渡辺 美幸氏の取締役在任期間分については取締役会に、監査等委員である取締役在任期間分については監査等委員である取締役の協議に、それぞれ一任することについて承認可決されました。

以上

お客様の生活を支えるダイニチのモノづくり

お客様から信頼され支持されることをすべての活動の基本とし、高い品質、使いやすく便利な機能、安全性にこだわった製品を皆様にお届けしています。

暖房機器（石油暖房機器・電気暖房機器・ガス暖房機器）

売上高 **144億20** 百万円（前期比 11.5%減）

家庭用石油ファンヒーター

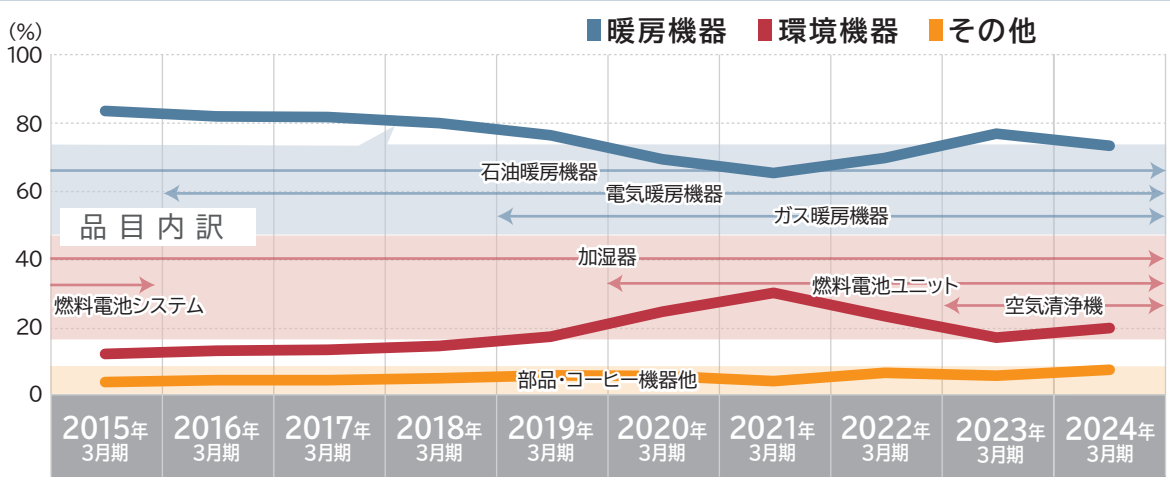
家庭用石油ファンヒーター市場に本格的に参入したのは1980年。業務用石油ストーブの技術と経験を生かした製品は、その年に早くも7万台を生産して主力製品となりました。

その後も毎年改良を積み重ねて安全性や操作性も向上し、2023年12月には累計生産台数3,500万台※を達成しました。



※2023年12月19日現在。1980年からの家庭用石油ファンヒーターの生産台数。自社調べ。

主要品目別売上高割合の推移



環境機器（加湿器・空気清浄機・燃料電池ユニット）

売上高 **39億28** 百万円（前期比 7.9%増）

ハイブリッド式加湿器



当社の製品の特長は何と言っても運転音の静かさ。またお手入れの容易さやデザインのよさなどを含めた総合的な商品力もお客様に評価されています。

「家電大賞※1 2023-2024」では、LXタイプ2023年度モデルが加湿器・除湿機・暖房機部門で金賞を受賞いたしました。

ハイブリッド式空気清浄機



当社の空気清浄機は、フィルター式と電気集じん式を組み合わせたハイブリッド式で、0.03μmの浮遊微粒子も捕集※2できます。

また、汚れたら捨てるだけのカンタン取替えプレフィルターを搭載し、お手入れもラクに行えるなど高い評価をいただき、「家電批評 ベストバイ・オブ・ザ・イヤー2023※3 空気清浄機部門」を受賞しました。

その他（部品・コーヒー機器他）

売上高 **13億1** 百万円（前期比 2.7%増）

コーヒー機器



コーヒーの生豆を手軽に焙煎して、酸化の進んでいない新鮮なコーヒーを味わえます。

コーヒー愛好家や自家焙煎コーヒー店からも評価され、堅実な販売を続けており、コーヒー豆焙煎機MR-F60Aが「家電批評ベストバイ・オブ・ザ・イヤー2023※3 コーヒー豆焙煎機部門」を受賞しました。

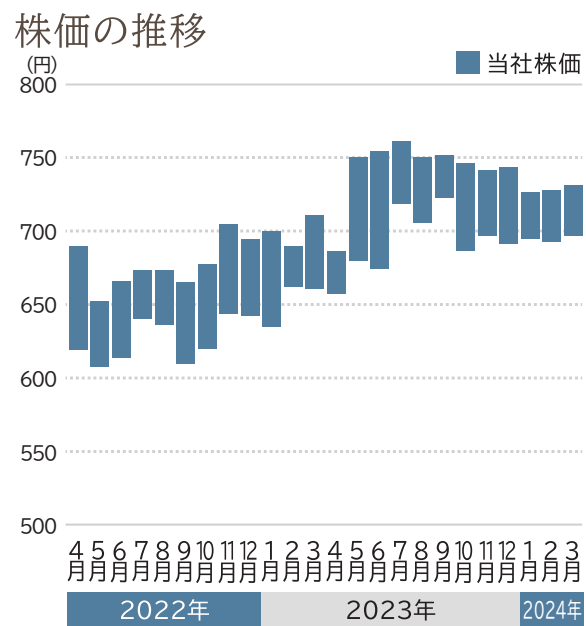
※1家電と暮らしの情報サイト「家電 Watch」と、モノ・トレンド情報誌「GetNavi」によって2015年に開始された年に一度の家電アワード。
※2【試験機関】暮らしの科学研究所株式会社【試験方法】25m³空間にてNaCl粒子を浮遊させ、SMPSにより粒子濃度を測定。【試験対象】塩化ナトリウム【試験結果(試験番号)】約19分で99%抑制。ターボ運転で実施。(LSRL-56010-F137)数値は密閉空間での効果であり、実使用空間での試験結果ではありません。
※3プロが本音でテストする家電購入ガイド「家電批評」が、2023年にテストした全製品の中から特におすすめなベストバイ製品へ授与する賞。

決算のご報告

貸借対照表		
(単位:百万円/百万円未満切捨)		
	前事業年度 2023年3月31日現在	当事業年度 2024年3月31日現在
流動資産	19,657	20,417
固定資産	10,597	10,766
有形固定資産	7,295	6,861
無形固定資産	37	37
投資その他の資産	3,263	3,867
資産合計	30,255	31,183
流動負債	3,473	3,257
固定負債	685	832
負債合計	4,158	4,089
株主資本	25,737	26,269
評価・換算差額等	359	824
純資産合計	26,096	27,093
負債純資産合計	30,255	31,183

キャッシュ・フロー計算書		
(単位:百万円/百万円未満切捨)		
	前事業年度 2023年3月31日	当事業年度 2024年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	2,024	111
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,361	△ 893
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 355	△ 355
現金及び現金同等物に 係る換算差額	1	2
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	308	△ 1,136
現金及び現金同等物の 期首残高	11,402	11,710
現金及び現金同等物の 期末残高	11,710	10,574

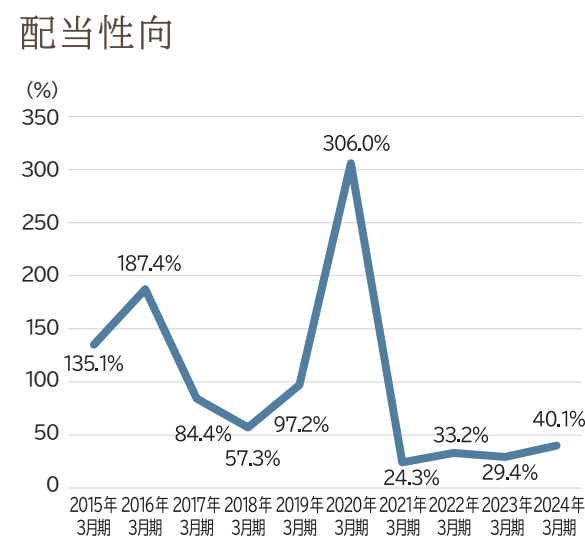
損益計算書		
(単位:百万円/百万円未満切捨)		
	前事業年度 2022年4月 1日 2023年3月31日	当事業年度 2023年4月 1日 2024年3月31日
売上高	21,212	19,650
売上原価	15,465	14,226
売上総利益	5,747	5,424
販売費及び一般管理費	4,300	4,324
営業利益	1,447	1,100
営業外収益	210	194
営業外費用	0	0
経常利益	1,657	1,294
特別利益	0	－
特別損失	5	39
税引前当期純利益	1,651	1,255
法人税、住民税及び事業税	405	327
法人税等調整額	35	39
当期純利益	1,210	888



会社概要/株式の状況

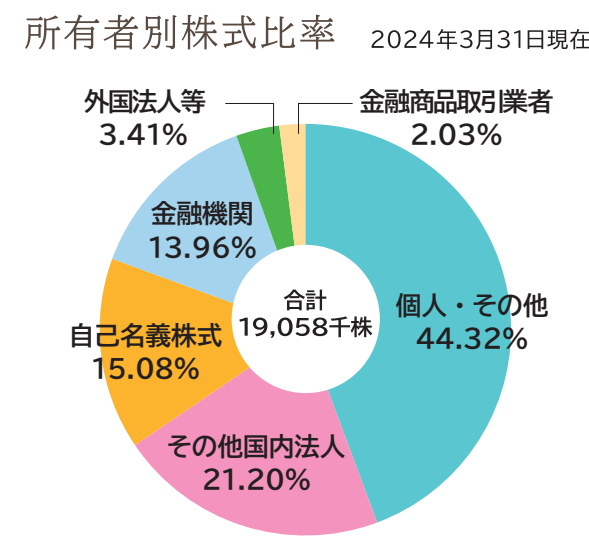
会社概要		2024年3月31日現在
社名	ダイニチ工業株式会社	
英文社名	Dainichi Co., Ltd.	
本社	〒950-1295 新潟県新潟市南区北田中 780番地6	
創立	1964年4月1日	
資本金	40億5,881万円	
従業員数	490名	

株式の状況		2024年3月31日現在
発行可能株式総数	54,767,100株	
発行済株式の総数	19,058,587株	
株主数	5,745名	



大株主(上位10位)			2024年3月31日現在
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)	
株式会社ビー・エッチ	1,841	11.38	
株式会社ダイニチビル	1,361	8.41	
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	1,127	6.97	
株式会社第四北越銀行	800	4.94	
株式会社日本カストディ 銀行(信託口)	636	3.93	
ダイニチ工業従業員持株会	591	3.66	
吉井 久夫	570	3.53	
吉井 久美子	556	3.44	
渥美 るみ子	391	2.42	
吉井 唯	378	2.34	

(注)当社は自己株式を2,873,520株保有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。なお、持株比率は発行済株式の総数から自己株式を除いて計算しております。



今後の見通しについて

今後の見通しにつきましては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって緩やかな回復が続くことが期待されるものの、世界的な金融引き締めや物価上昇、金融資本市場の変動等により先行き不透明な状況が続くものと想定されます。

今後も原材料価格やエネルギー価格は高止まりすることが想定されるため、原材料等の上昇に合わせた販売価格の改定を進めるとともに、最適な生産体制の構築に取り組んでまいります。

また、お客様から信頼され支持されることを全ての活動の基本とし、多様化するニーズに即した商品ラインナップの拡充にも努めてまいります。

これにより通期の業績見通しにつきましては、売上高 200 億円(前期比 1.8%増)、営業利益 11 億 50 百万円(同 4.5%増)、経常利益 13 億円(同 0.5%増)、当期純利益 9 億円(同 1.4%増)を予定しております。